国際金融機関（IFI）

概要報告の目的：
- IFI に関する取り組みの進捗状況を EB-148 に報告する。

関連：
✓ グローバル政策

背景：PSI の取り組みでは、労働セーフガードなど、世界銀行グループの環境、社会面のセーフガード政策改訂プロセスに注目した。PSI は引き続き、民営化一般、そして具体的には官民パートナーシップに注目しながら IFI 政策とプログラムを監視する。PSI はまた、財政政策・プログラムの点で世銀および国際通貨基金と並行して展開する米州開発銀行のセーフガード政策プロセスの監視も続ける。

議論：

世銀セーフガード政策改訂プロセス

PSI は世銀セーフガード政策改訂プロセスに関して、ITUC が最近発表した通信を支持する。これには、ITUC が 2015 年 8 月に出した報告に記載されるように、労働セーフガードの改訂に対する批判も含まれている：

「世銀は労働セーフガード案に残された欠陥を以下の方法で是正すべきである：
- *ILO の中核的労働基準条約に明確に言及をすること*
- *公務員として定義されるかどうかを問わず、ESS2 の保護を受けられるとして、すべてのプロジェクトワーカーを含めること*
- *世銀の融資を受けたプロジェクトにおいて自由な結社と団体交渉を試みる労働者に対する差別と報復行為を禁じること。その際、国内法でこれらの権利の地位について区別しないこと*
- *プロジェクトにどの ESS 2 要件が適用され、対処するべきかを債務国が自分で決定する権利をなくすこと*

ITUC 文書の全文はこちら：
http://www.ituc-csi.org/revised-draft-of-world-bank-s?lang=en

ワシントン民営化会議（2015 年 12 月）への IFI の関わり
民営化に関するワシントン世界リーダーシップ会議では、国際通貨基金（IMF）、世界銀行、アメリカ合衆国政府（財務省、労働省、国務省）の代表との議論も行われた。議論の焦点は、官民パートナーシップなど、民営化構想を支持し評価することの多い IMF と世銀の政策とプログラムであった。

会議参加者は、上記の代表に質問を投げかけ、彼らがこれまでどのような観点でいたのか、国としてどのような事例があったのかを紹介した。IMF、世銀、米国政府のゲストは、こうした取り組みを歓迎し、PSI にさまざまな問題の議論を深めるよう激励した。PSI の参加者は、これに対し、民営化の具体的な事例に関する懸念を米国財務省および IFI に紹介することで、フォローアップし、検証することで合意した。

予算面：なし

次のステップ：官民パートナーシップに注目しながら、IFI に労働セーフガードと民営化の問題に引き続き取り組ませる。

EB-148 に対し以下を勧告する。： **1. .継続的な取り組みを支持すること。**	**はい / いいえ**